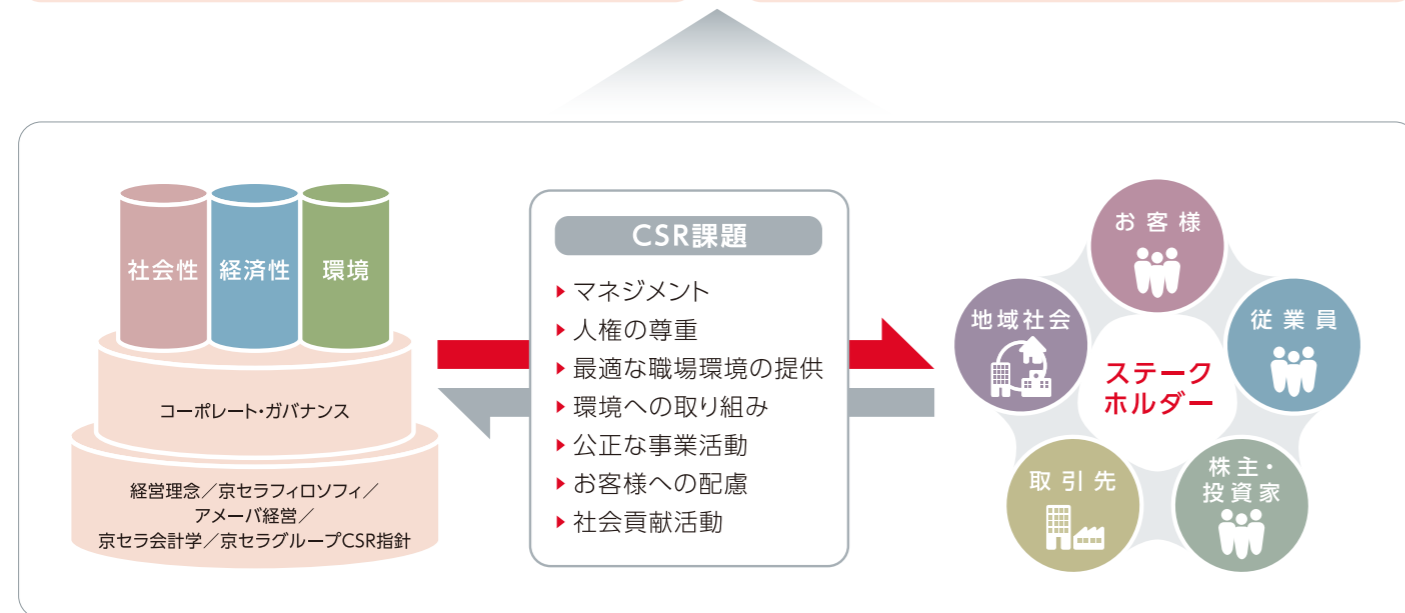


CSR活動の推進

京セラグループのCSR活動は、人間として何が正しいかを判断基準とする「京セラフィロソフィ」がベースとなっています。京セラフィロソフィの実践を通じ、CSR課題の解決に取り組み、ステークホルダーとの相互信頼の構築とグループの持続的な成長を図るとともに、社会の健全な発展に貢献していきたいと考えています。

京セラグループの持続的な成長

社会の健全な発展



CSR活動の詳細情報はホームページをご覧ください。▶▶ <http://www.kyocera.co.jp/ecology/>

CSR活動の重要テーマ

省エネ・温暖化対策の推進、環境汚染の予防

エコロジー(環境性)とエコノミー(経済性)の両立を追求しながら、持続的な発展を目指す環境活動にグループを挙げて取り組んでいます。特に省エネ・温暖化対策では、省エネ設備の導入、太陽光発電システムの設置、グリーンカーテンの育成など、積極的な活動を展開しています。このような省エネ活動に加え、生物多様性保全などの地域社会への貢献が評価され、環境省より、「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を最多となる7年連続で受賞しました。



太陽光発電システムの設置
(鹿児島川内工場)



グリーンカーテンの取り組み
(長野岡谷工場)



工場排水を利用したビオトープ*
(鹿児島国分工場) *生物生息空間

多様な社員の活躍推進

従業員一人ひとりが生き生きと明るく仕事ができ、多様な“人財”が個々の能力を最大限に発揮できる企業風土づくりを目指しています。グローバル人材の育成をはじめ、現地主義に基づくローカルスタッフの現地幹部への積極的な登用、女性活躍推進、障がい者雇用の推進、育児・介護の支援制度の充実など、多様な活動を行っています。



海外研修の実施



女性活躍推進委員会



サプライヤーセミナーの開催

サプライチェーンにおける社会的責任の推進

人権・労働、環境保護などの社会的責任を果たすため、お取引先様と一体となりCSR活動を推進しています。

社会貢献活動

京セラグループは、お客様、従業員、株主、取引先、地域社会など企業を取り巻くすべてのステークホルダーとの関わりを大切にしながら、社会の一員として信頼と尊敬を得られるよう努力しています。今後も、社会と共生し、健全な持続的な発展に寄与する社会貢献活動を推進してまいります。



稲盛財団 京都賞への支援

科学や文明の発展、人類の精神的深化・高揚に著しく貢献した人々を顕彰する稲盛財団が運営する「京都賞」の趣旨に賛同し、支援を行っています。



京セラ美術館

1998年より、本社ビル(京都市)に京セラ美術館を開設。地域振興と文化発展を願い、無料で公開しています。



「ピンクリボン活動」への支援

乳がんの早期発見、早期検診を推進する「ピンクリボン活動」を日本、アメリカ、オーストラリア、中国、韓国、シンガポールで支援しています。



環境出前授業

社員が講師となって小学校を訪問し、太陽電池を教材に授業を行う「環境出前授業」を実施しています。



京都サンガF.C.への支援

地域活性化とJリーグ百年構想に賛同し、グループを挙げて「京都サンガF.C.」をサポートしています。